

咲がそら
いのち



日蓮大聖人の教えを正しく伝える法華宗



法華七噲 その三 「化城宝処の噲え」

今回は化城噲品に説かれる「化城宝処の噲え」を紹介します。

ある所に、貴重な宝物を目指し前人未踏の砂漠を越えようとする旅団がいました。この一団の案内人は聡明で精神力も強く、砂漠にも精通し一団を宝物へと導くことのできる人物でした。

案内人の元、砂漠へと入った一団ですが、あまりの過酷さに参ってしまいます。すると一団から「我々は長旅で疲れ果て、厳しい環境に参ってしまったている。元の所に引き返そう。」という声が上がります。皆を何としても目的地に連れていきたい案内人は、神通力で立派な城を作り、一団を休ませようと城へ誘導したのでした。

案内人は彼らの体力が十分回復すると、旅の再開を告げます。ですが、城に留まりたいとの声が出ます。これに対し案内人は、実はこの城は私の神通力による幻で、本当の目的地はもっと先にあると語り、元気を出して出発しようと言をかけました。この言葉に背中を押された一団は、案内人と共に旅を続けました。

以上が化城宝処の噲えです。この旅の一団は私たちで、案内人は仏様です。

私たちは一度仏道を志しても、その決意は普段の生活に潜む欲や快樂等に惑わされてしまいます。私たちが仏道を成就するには、この世界は砂漠のように過酷で厳しいものです。このお話では、欲や快樂に心身共に疲れた私たちを前進させようと、あえて仮のゴールを示し、本当のゴールへと導く仏様の巧みな手段が表現されていたのです。私たちの周りには様々な宗派や教えがありますが、本門八品上行所伝のお題目こそ、仏様が混沌とした時代を生きる私たちに届けてくださった、仏の境地に至る唯一の教えであります。私たちはお題目を杖として、砂漠のような厳しい人生を力強く歩んでいきましよう。

※法華宗のホームページでは法華七噲を漫画でわかりやすく紹介しています。この機会にぜひご覧下さい。

<http://hokkeshu.or.jp/sp/manga.html>

